



↑冬の夕暮れ時。林冠トレイルの上から金色に染まった森が見えました。

## やっときた冬

今年は暖冬ですって。雪、降らないね～なんて言っていたら急にやってきた大寒波。

森は、大きな被害もなく、こどもたちといきものの足跡を見つけたり雪遊びしたり。ようやくきた冬の森を思う存分楽しんでます。



←  
矢印のところに  
うさぎの足跡。  
2m級の  
大ジャンプ！  
←

## お知らせ

東近江森の博覧会サテライト観察会Vol.4  
＆つながりシリーズ「鈴鹿から琵琶湖まで」第3回  
**鈴鹿の山と暮らし、そして獣たち**

2月11日(木・祝)

道の駅

奥永源寺溪流の里にて

午前は廃村になった茨川集落、最後の住人の方から、集落と山との関わりのお話。  
午後は鈴鹿に棲むいきものたちについて、フィールドでの観察を交え、哺乳類調査の専門家に案内していただきます。

午前の部 鈴鹿の山と暮らし

時間 10:30～12:15

おはなし 筒井 正さん  
(茨川集落最後の住人)

定員 50名

料金 無料

午後の部 鈴鹿の獣たち

時間 13:15～15:30

案内 千々岩 哲さん  
(哺乳類調査の専門家)

定員 30名

料金 100円

持ち物 防寒具、水筒、雨具、長靴

午前の部・午後の部どちらかのみでも参加できます  
両方に参加される方は、昼食を各自持参いただくか  
道の駅レストランをぜひご利用ください

お申し込みは  
**0748-20-5211**  
河辺いきものの森まで！

## モリイコ！のこどもたち

モリイコ9回目の活動は、雪が降った隊では雪遊びを中心に森を使って遊びました。雪の上についたウサギの足跡を見つけて追跡したり、つららや氷を手にとって大はしゃぎでした。雪合戦やそり滑りなど雪の森は遊びがたくさん！

とっても寒い中遊んだ後は、みんなで考えて足湯をしました。たき火をつけて、石を焼いて、焼き石の熱で水をお湯にしました。焼き石を水に入れるとモワ～っと湯気が立ち上り、子どもたちも「おお～」と感嘆した様子。繰り返し温めて40℃以上にしました。みんなで足を入れて「あっつ～！！」になりながら全身ポカポカになりました。



モリイコ！Sは工作をしてから森たんけん！昔ながらのおもちゃ、草の実鉄砲です。ジャノヒゲやヤブランの実を拾って、作った竹鉄砲で撃てば「パーン！」といい音が森に響きました。子どもたちはよく鳴る実を求めて夢中で森の中を突き進んでいました。

今月は午後も工作！「みんなで遊べるもの」をナイフとノコギリで作りました。竹や木の枝を材料に竹ぼっくりやバランスゲーム、ガリガリトンボを作りました。子どもたちは自分が作ったおもちゃはもちろん、お互いがつくったおもちゃで遊んだりして盛り上がっていました。

## ●1月の作業だより

### 第2土曜日（1月9日） 30人

#### ① くさはら広場の草刈り

ススキなどが生える昔からのくさはらを維持するため、毎年草刈り機を入れています。今年もスッキリしました。

#### ② 落ち葉かき

天候にも恵まれサクサクと落ち葉を集めることが出来ました。

#### ③ 竹林整備

密になって生えている竹で細い竹を間引きしました。

#### ④ 昼食準備とお餅つき

みんなで臼のまわりに集まり、大賑わいの餅つきでした。もちろんとってもおいしかったです！

### 木ままクラブ（1月14日） 14人

竹林整備と、枯れ木の伐採を行いました。ナラ枯れで枯れたアベマキは、樹齢100年越え！長い間この森を見守ってくれた木は、薪に姿をかえ、今後は森を暖めてくれます。

#### （1月21日） 12人

梵釈寺での作業の予定でしたが、前日からの雪のため、森での作業に変更しました。冬でも葉をつけているアラカシの木の伐採を行いました。



### 第4水曜日（1月27日） 16人

木ままに引き続き、アラカシの伐採です。伐った木は炭窯で炭に焼いてもらう予定です。

### 2月の活動日と作業予定

2/4 (木)	木ままクラブ 下草刈りなど
2/13 (土)	落ち葉かき ササの手刈りなど
2/18 (木)	蒲生 岡本 梵釈寺 続き
2/24 (水)	枝打ち ササ刈りなど

朝 9:00～（遅刻可）

第2土曜日は、9:00より

1時間ほど観察会を行います

## 1月の森の様子

新年最初の観察会は、森の野神さんに初詣です。このあたりではチョンメの木というのですが、エゴノキの枝にお餅を飾る「まゆ玉」が飾られていました。農作物の豊作を祈っての正月飾りです。その後、梅を見に行きました。暖冬の影響か、いつもより咲いている数が多い気がします。

けれど、暖冬や、暖冬や言っている間に、一日でどっさり雪が降ったり、気温がマイナス7度（！）になったりと大変な冬模様ですが、雪が降れば、森はいきものの足跡で賑わいます。今年はウサギの足跡がたくさん見られるように思います。

森に住んでいるのは二ホンノウサギ、冬でも茶色をしています。とはいっても、なかなか出会う事が少ないいきものです。

けれど雪の上にはウサギの足跡やら、フンやら、オスと呼ぶ雌の赤いオシッコやらたくさんウサギ情報が溢れています！ぜひ、雪の次の日はお勧めです。



## どっちが〇〇？ 河辺の森でリサイクルを考えよう

遊林会は里山保全と自然をフィールドにした環境学習の二本柱で活動を続けているNPOですが、大きくくりで言えば、環境のジャンルに分類されます。今回、ちょっとしたご縁で、リサイクルのイベントをすることになったのですが、環境系と言えども、循環型社会や、自然共生などはお手のものでも、リサイクルはスタッフ達も初めてです。

冬は子どもたちの森の利用も一段落しているので、図書館で書籍を借りて勉強したり、リサイクルを専門に行っている他施設に話を聞きに行ったりしています。けれど、休みの日ですよ。偉い！

さて、ではリサイクルに関して、子どもたちに何を、どこまで伝えるか、が問題となってきます。環境問題は「わかりにくい」のが問題で、ペットボトルのリサイクル問題しても、「なにがなんでもリサイクルしたほうがよい」や「全て燃やした方がコストが安い」と言い切れないのが真実です。

それでも、体験型で、楽しく！という遊林会のコンセプトは揺らぎませんので、楽しいイベントになるのか楽しみです。

### 編集後記

40年ぶりの寒波が来た東近江市の最低気温は-7℃。ちょうど札幌の1月の平均最低気温が-7℃なので、24日の天気は札幌と同じということです。調べてみると、東近江市の観測史上（1978～）、最低気温は、1982年1月の-11.6℃。ちなみに最高気温は38.8℃、2014年7月の記録です。50℃の変化に耐えられる人間もしみじみすごいですよね。 出海

### 【発行者】

特定非営利活動法人  
里山保全活動団体 遊林会  
代表理事 井田 三良

〒527-0003  
滋賀県東近江市建部北町531  
河辺いきものの森内  
電話：0748-20-5211  
メール：ikimono@e-omi.ne.jp